

### 認知症の予防や早期発見のための効果的な取り組みを

公明党 松澤 堅二

問 高齢化が進む中、認知症患者は高齢者全体の10%を占めるといわれている。認知症は、偏見や理解のなさ、本人の意識の低さから早期に治療されないケースが少なくない。認知症を予防するには、いかに早期に発見し治療につなげるかが重要であり、そのための積極的・効果的な事業展開が必要である。本市では、認知症予防に対してどのような取り組みを行っているか。

答 認知症の発症を完全に防ぐことは困難だが、高血圧や肥満対策として運動や食事に気を配ることで、予防や進行速度を遅くする効果は期待されている。市では、介護予防プログラムに基づき、脳の活性化を図るための脳のリハビリ教室をはじめ、栄養改善教室、生活習慣病対策講座などを実施している。また、健診事業は健康づくりと生活習慣病予防が目的のため、聴力検査を加える予定はないが、簡易検査は聴力低下の早期発見につながるため、介護予防事業などの際、参加者や相談者を対象に行っていく。また、「ほかに「バリアフリー」の着実な推進について」「公園整備の取り組みについて」を質問)

### 円高の影響を受けている市内中小企業への支援強化を

越川 好昭

問 急速に進む円高ドル安で企業の国外転出が加速し、これにより、国内の経済も雇用も悪化している。市内中小企業の経営悪化が見込まれるが、市内経済への影響をどう見ているか。また、企業からはどのような声があるか。企業には、仕事が減って資金を借りても返せないという不安がある。融資よりも、固定資産税の減免や家賃補助、異業種交流促進支援などの対策が必要ではないか。また、市では、深谷落合と吉岡西部の工業系新市街地整備を進めている。景気が悪化して企業誘致は難しいと考えられるため、中止すべきではないか。

答 円高の直接的な影響があるのは、海外と直接取引を行っている大手企業だが、大手企業と取引のある市内中小企業にも大きな影響がある。企業の声としては、取引先からの値下げ要求が激しく、大変厳しい経営環境に直面していることである。固定資産税の減免などは考えているが、市制度融資の継続や企業支援専門相談業務の拡充などで支援を図っている。工業系新市街地整備は、県が企業誘致を一層促進させる区域に指定する準備をしており、市でも企業立地支援の条例を制定し、企業誘致を進めていく。また、「ほかに「障害者施設の利用向上を図るために、どのような取り組みを行っているか」を質問)

### 風車公園内で遊ぶ子どもへの安全配慮と今後の対応は

新政会 橋川 佳彦

問 風車公園は、平成18年に開園した市内でも5番目に大きな公園で、多くの子どもたちが遊んでいる。しかし、現在遊具広場一面に敷いてあるウッドチップ舗装材が至るところではがれ、碎石が飛び出している状況が見受けられるが、ウッドチップを採用した経緯は。また、遊具広場が荒れた状態のまま運営されている風車公園の現状をどう考えているか。実際に公園を歩くと、小さい子どもには危険な段差があるが、子どもたちへの安全配慮はどうなっているか。今後、改修を含めて、どのように対応していくのか。

答 ウッドチップ舗装材は、遊具施設や周辺で遊ぶ子どもたちへの安全性などを考慮して採用した。しかし、昨年ごろから老朽化による損傷が進んでおり、子どもたちの安全を最優先に考え、早期に修繕していきたい。また、それまでの間、段差には砂などを補充して安全性を確保していく。さらに、ウッドチップの耐用年数も過ぎていたため、平成24年度の当初予算編



市の木「やまもみじ」

成時に改修について検討していく。使用材料としては、ゴム入りチップなども検討材料にして、はがれないような構造で整えていきたい。また、「ほかに「旧綾瀬小学校校舎解体によるアスベスト問題について」「学校緊急連絡システムについて」を質問)

### 食品による内部被曝など放射能汚染への今後の対策は

森藤 紀子

問 放射能汚染は、福島第一原子力発電所から約260キロ離れた本市でも、人ごとではない。私たちは、身近な場所の放射線量を知るため測定会を行ったが、側溝から高い数値が出た。公共的な場所での測定は、安全基準を超える数値が出た場合、どう対応するのか。今後は、食品による内部被

曝も心配される。学校給食の食材を週1回、1品目を選んで検査しているが、食材の選定基準は、食の安全を確保するため、身近な場所での測定できる食品の放射能測定器が必要と考える。農業や家庭菜園が盛んな本市で風評被害を防ぐためにも、導入できないか。また、「ほかに「水害対策について」を質問)

答 原発の事故以来、県内でも放射能汚染が広がっている。市では、市民の安全・安心を確保するため、公共施設の空間線量や放射性物質を測定し、結果を公表している。公共施設で基準値を超えた場合は、施設管理者と協議し、除染が必要と考えている。市場で流通している食材は安全と考えているが、不安解消と安全性再確認のため、給食食材を検査している。放射能の影響が一番ありそうな食材を選定しており、結果的に野菜類が中心になっている。食品の放射能測定器の導入は調整するが、今後も、国の情勢などを注視し、対応していく。また、「ほかに「水害対策について」を質問)



10月12日、「第25回綾瀬防火協会初期消火競技大会」が行われました。出場した各事業所の選抜選手は、日ごろの訓練の成果を発揮していました(消防本部にて)

### 安定した国保運営のため医療費の削減に向けた対策は

公明党 内山 恵子

問 安定的に国民健康保険事業を運営するには、年々増え続ける医療費の削減を図る必要がある。医療費が高額となる、がんなどの予防・早期発見は医療費の抑制に効果があると考えられるが、乳がん・子宮がん検診の無料クーポン券配付によって受診率は向上したか。また、今後も無料クーポン券を配付する考えはあるか。通院と健康診査などの健康管

理をトータルで行うことが、病気の早期発見、早期治療につながる。ひいては医療費の削減となる。診療所が近くになく、他市にかりつけ医をもつ方もいるが、本市以外でも健康診査の受診は可能か。また、「ほかに「小中学生の安心・安全対策について」を質問)

答 平成21年度から、乳がん・子宮がん検診の無料クーポン券配付を始めたが、開始前後の受診率を比較すると、乳がん検診が5.3%、子宮がん検診が3.5%増加した。クーポン券の配付により受診率は向上する傾向にあるので、今後も啓発に努めるとともに、引き続き実施していきたい。健康診査は、受診者の利便性を考慮し、海老名・座間・綾瀬の3市内、合わせて60の医療機関で受診できるようにしている。また、大和市内の診療所にかかりたいという要望もあり、医師会などと調整し、9月以降3カ所の医療機関で受診できるようにした。また、「ほかに「小中学生の安心・安全対策について」を質問)